

144MHz

JR3PIO 関森 源治 Genji Sekimori

2メートル・バンドと呼ばれ親しまれている144MHz。普段は近場のQSOがメインですが、Eスポと言われる異常伝搬により、ときとして全国的なQSOが可能になる魅力も。普段はローカル・ラグチューを楽しむ、EスポでDX交信も楽しめる入門バンドの一つです。

今年も早や9月、太陽活動最小期でありV/UHFの電波伝搬もやや不調で、大きなオープンもなく過ぎるのかとちょっと寂しい感じがします。地球温暖化が電離層に対して、どのように作用しているのか知りたいところです。

いずれにせよ、今はコンディションの上昇を先々に期待して待ち、秋の夜長を勉強にまたワッチ、ラグチューにと過ごしましょう。

今月は、奈良から144MHz WAJAを狙っているJA3GJE 長谷川さんの運用スタイルを紹介いたします。

奈良から狙う144MHz WAJA

開局以来43年目を迎えて当局的ハムログの入力数は約40,500 QSOとなった。周波数別は144MHzが約8200の20%、50MHzは約4000の10%となっている。

目標はWAJAで、3.5/7/18/21/24/28/50/430MHzと8バンドで完成している。しかし144MHz WAJAは昨年末現在、青森県のみ未交信だが、今年中に

は何とか交信したいと思う。

1990年頃まで住んでいた奈良市では、配電線碍子から発生するノイズが凄くテレビにも雑音が入って、とてもQRVできる環境になかった。現在地の生駒市に引っ越しノイズがほとんど入らず、サイクル22でコンディションもアップしてきたので、思い切って2本のアンテナ・タワーを建設した。144MHzは8×2キュービカル・クワッドを12m高に上げることで、結構飛んでくれた。

2000年に家を建て直し、駐車場確保のため残念ながらタワーは撤去した。現在は2階に上げた7m高の8エレ八木×2を使って頑張っているが、青森県とは交信が困難だと思い、移動での交信を期待している。

奈良県2m SSB愛好会では、毎年2月1日から7日までマラソン・コンテストを実施しているが各局がこぞで移動運用を楽しんでいる。私も10年前から毎年、吉野郡に移動している。季節柄か、雪に降られることが数回あり、今年も例外ではなかった。

2007年2月2日移動機材を積み吉野郡大淀町に向かった。高市郡との境界にある芦原トンネルを出て吉野郡に入った途端、一面真っ白の雪景色でいささか驚いたが、何とかチェーンなしで走ることができた。冬期は天候の急変に対応する準備の必

要性を痛感した。

移動先のゴルフ場入り口に1700頃到着した。10cmほどの積雪があり、すぐにアンテナを設置したかったが降雪ますますひどくなり、車外には出ずに、モバイル・ホイップで運用した。幸い約30分後に雪が止んで八木アンテナを設置し、2040まで吉野郡をサービスした。

帰路、高市郡の道路は一部凍結しており十分気を付けて運転した。奈良市は盆地であるが県内の山岳地に入ると国有林が鬱蒼と茂り、険しい山岳もある。遺跡、霊場、街道、古道も数多く通じていて移動場所にはこと欠かない。しかし、最近では山歩きの方々もたいへん多く、これらの方に迷惑をかけたり危険な目に会わせないように、運用には火気、騒音には格段の注意が必要である。

奈良の山岳地では、峡谷から流れ出る川筋の曲がり角の瀬と言われる場所には落人の集落が存在する。これらの村人には昔ながらの奥ゆかしさ礼儀正しさがある。都会生活に慣れたわれわれは、改めて教えられた思いであるが、これも移動運用の成果と言えるだろう。

de JA3GJE 長谷川 驍
(奈良県生駒市)



シャックでワッチに余念のない、JA3GJE 長谷川さん

【筆者プロフィール】

1926年、大阪市生れ。病院事務長として長く勤める。1947年よりSWL。1973年にJR3PIO開局。近畿各愛好会会員、電波適正利用推進員。E-Mail: jr3pio@lapis.plala.or.jp

訂正：9月号p.193、標高「500m」を「560m」に、カコミ記事内の「BV2/JR3PIO」を「BW2/JR3PIO」に、それぞれお詫びして訂正いたします。（編集部）